

## 1 開会

進行（押田事務局長）

## 2 会長挨拶

あいさつ（二宮会長）

- ・昨年10月「令和7年度 土地活用モデル大賞」にて、大洲市及び（一社）キタ・マネジメントが大賞となる「国土交通大臣賞」を受賞し、引き続き、国内外で持続可能なまちづくりの取組が評価されている。本日は、令和7年度中間報告及び次期観光まちづくり戦略ビジョン策定について協議し、観光まちづくりを次の段階へ発展させていく会議としたい。

## 3 議案及び報告事項

- |       |                        |
|-------|------------------------|
| 報告第1号 | 委員等の変更について             |
| 報告第2号 | 令和7年度中間報告について          |
| 報告第3号 | 令和7年度仮収支決算について         |
| 報告第4号 | 専決事項について               |
| 議案第1号 | 次期戦略ビジョン策定方針及び策定手法について |
| 議案第2号 | 会則の一部改正について            |

○報告第1号について、会議資料に基づき事務局が説明を行った。

説明者：中塚（会議資料2ページ）

《質疑応答》

特になし

○報告第2号について、会議資料に基づき事務局が説明を行った。

説明者：久世（会議資料3～31ページ）

《質疑応答》

特になし

○報告第3号について、会議資料に基づき事務局が説明を行った。

説明者：久保（会議資料32ページ）

《質疑応答》

特になし

○報告第4号について、会議資料に基づき事務局が説明を行った。

説明者：久保（会議資料33ページ）

《質疑応答》

特になし

○議案第1号 次期戦略ビジョン策定方針及び策定手法について  
議案第1号について、会議資料に基づき事務局が説明を行った。

説明者：久世（会議資料34～47ページ）

《質疑応答》

特になし

審議の結果、議案第1号について承認された。

○議案第2号 会則の一部改正について

議案第2号について、会議資料に基づき事務局が説明を行った。

説明者：河野（会議資料48～55ページ）

《質疑応答》

特になし

審議の結果、議案第2号について承認された。

## 4 その他

### ●二宮市長（大洲市）

- ・魅力ある観光まちづくりを実現するためには、女性ならではのご意見をいただくことが重要である。改正した会則に基づき、女性部等を設置されている機関や団体には、ぜひ女性委員の推薦をご検討いただきたい。
- ・今後設置する分科会においても、若手や女性職員の参加をご依頼するため、ご協力をお願いする。また改めて担当からご連絡する。

### ●藤岡会長（観光協会）

- ・まちづくりの当初は食事をする場所が無い（主に昼食）という問題があったと思うが、現状は解消されたのか？

### ○事務局

- ・キタ・マネジメントなどのご尽力により、肱南地区への進出事業者が増加し、食事問題（主に昼食）に関してはある程度解決したと言える。

### ●藤岡会長（観光協会）

- ・肱北地区などへの範囲拡大などの具体的な案はあるのか。特に夜の飲み屋やスナックなどのナイトマップのようなものがあれば良いと考える。また、それらがインバウンドに向けて英語対応ができると良い。

### ○事務局

- ・ナイトマップについては各方面からご提案をいただいている状態である。また、肱北エリアへの範囲拡大については検討を進めている状況である。観光協会をはじめ各団体の方々にぜひご協力いただきたい。
- ・肱南地区にインバウンドが増えていることはご理解いただいていると思う

が、大洲市全体としてどの程度インバウンドが来訪し、宿泊しているかという情報があまり知られていない状況にあると考える。そのため上記の情報を、市民や事業者の方に提供し、皆様の理解、協力を得られる体制を構築する。

●藤岡会長（観光協会）

- ・先日、新聞にて総合計画の市民参加ワークショップ開催に関する記事を見た。ワークショップの際に出た意見などが、今後の計画などに反映されているのか。

○事務局

- ・この1年にて、総合計画の見直しとリンクさせた形で、次期戦略ビジョンを策定し、その中で各施策に反映することが出来ればと考えている。

●二宮市長（大洲市）

- ・市総合計画は令和9年度より3年スパン3クールの計画としている。今年度と来年度の2か年をかけ策定している。観光まちづくり戦略ビジョンもリンクさせながら策定をしていく。

●太田副会頭（大洲商工会議所・旅館組合）

- ・何かものが出来上がっても事業者が知らないことが多いので、事業者の方や商工会の方などと連携し、一緒に作り上げていくのが重要と考える。宿泊事業者として、積極的に参加していきたいと考えている。

●米澤支部長（料飲組合）

- ・料飲組合では、外国人のお客様の言葉が分からぬいため、スマホで翻訳等を行っているが、事業者全てが同様に対応できる訳ではない。何か良い方法はないだろうか。

●二宮市長（大洲市）

- ・例えばALT（外国語指導助手）の協力をいただきベーシックな英会話教室などの企画や、必要に応じて、スマホを使った翻訳方法の勉強会なども検討したい。

○事務局

- ・次回の戦略会議開催時間前に、委員の皆さんに実際にまち歩きを体験していただく企画を検討しているため、ご参加いただくようお願いしたい。（開催予定5月頃）

## 5 閉会

作成：大洲市観光まちづくり戦略会議事務局